

PCR検査プレハブ特徴

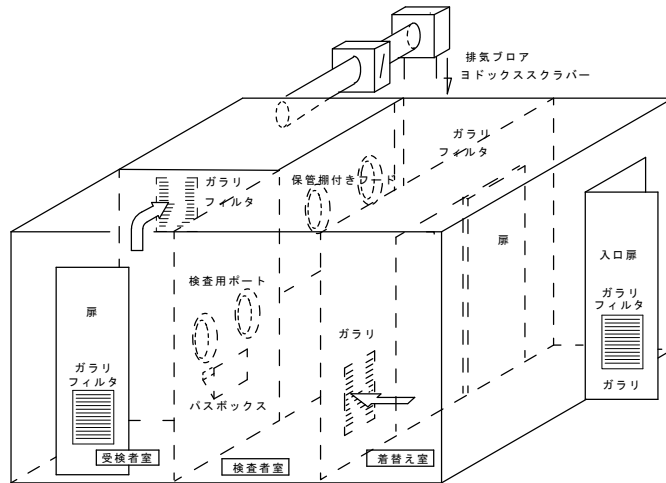
- ・PCR検査プレハブ室内は常時-30Pa程度の負圧に調整し室外への汚染を無くします。
- ・汚染度の低い部屋から高い部屋へ排気します。（着替え室⇒検査室⇒フード排気）（受検室⇒フード⇒排気）
- ・検査時は直接受験者と接触せず検査を行うために検査ポートはグローブを装備しております。
- ・検査後の試験体は検査ポート下のパスボックスを介して回収します。
- ・試験体は保管棚フード内でさらに外装し、保管棚で保管します。
- ・室内の排気は抗菌HEPAフィルタを経てヨドックススクラバーで排気するため、近隣への細菌およびウィルスの排出を防ぎます。
- ・用途に応じて排気設備（フィルタ・ブローア・ヨドックススクラバー）のみの設置も可能です。

PCR検査プレハブ全体仕様

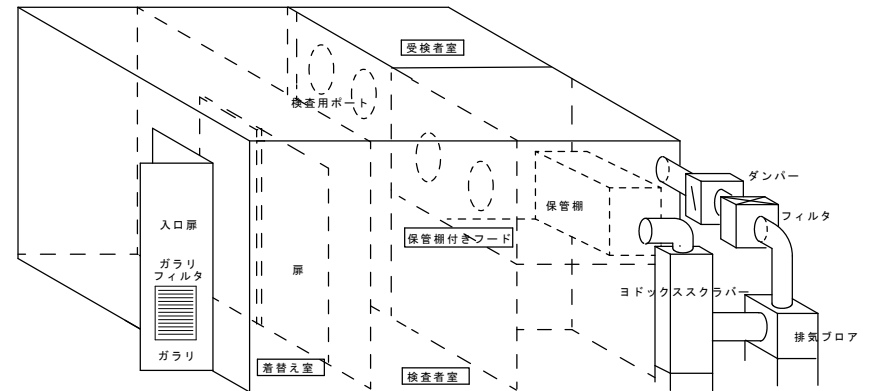
- ・PCR検査プレハブ設置スペース（ブローア・スクラバー含む） 3m×3.1m
- ・プレハブ材質：鋼板製メラミン樹脂（表面アイボリー塗装）、周囲板/窓：ポリカーボネート透明
- ・供給電源1φ100V15A（プレハブ）、3φ200V0.2kW（ブローア）、スクラバー循環液ポンプ1φ100V45W
- ・装備：照明RED×5、差圧計±50Pa×2、保管棚フードW0.95×D0.7×H2.2m
- ・装備：ヨドックススクラバー ヨドックス液*%/20L（抗菌・抗ウィルス薬剤）

各部屋仕様

- ・着替え室；寸法W2.1×D1.2×H2.2m、電源盤×1、差圧計×1、照明×1
- ・検査室；寸法W2.1×D0.95×H2.2m、差圧計×1、照明×2、グローブ1双/パスボックス（受検室間）



PCR検査プレハブ
（受検者室側）



PCR検査プレハブ
（排気設備側）